

A. 播種（種まき）準備

○種子消毒（浸種）～催芽

イネの病気を防ぐために、あきたこまちの種を種子袋に入れて24時間消毒液につけます。

この消毒で、ばか苗、いもち病、ごま葉枯病はがれびょうを同時に防除します。

消毒が終わると消毒液を水で洗い流し、約1週間水（水温10～15℃）に浸します。

その後、催芽機さいがきという水温（30℃・約28時間）を一定に保つ機械で1mmほどの芽を出させます。

B. 播種作業

育苗箱いくびょうばこに床土とこつちをいれ、種子をまきその上から土を被かぶせます。培土ばいど（育苗用の土）には秋田

県主食集荷商業協同組合の「大黒培土だいこくばいど」を使用しています。



ビニールハウスに育苗箱を並べ、
その上から被覆ひふくビニールを被せて
保温することで芽出しを行います。